

危急存亡	ききゅうそんぼう 生き残るか、ほろびるかの重要なとき。
孤立無援	こりつむえん たった1人で、他からは何も助けがないこと。
五里霧中	ごりむちゅう 心がまよって、どうしてよいかわからないこと。
才色兼備	さいしょくけんび 女性が、すぐれた才能と美しさの両方をそなえていること。
子子孫孫	ししそんそん 子孫の続くかぎり。
四面楚歌	しめんそか どちらを見ても敵ばかりというようす。
枝葉末節	しょうまつせつ 本すじにかかわりのない、つまらない部分のこと。
支離滅裂	しりめつれつ 全体としてまとまりがなく、ちりぢりばらばらなようす。
思慮分別	しりよぶんべつ ものごとをよく考え、よくわきまえて判断すること。
神出鬼没	しんしゅつきぼつ 神が鬼かと思われるほど、すばやく自在に現れたりかくれたりすること。

千載一遇	せんざいいいちぐう またとない絶好の機会。
千変万化	せんぺんばんか ものごとがさまざまに変わること。
大願成就	たいがんじょうじゅ 大きな願い事がかなうこと。
波瀾万丈	はらんばんじょう ものごとの変化や浮き沈みがはげしいこと。
粉骨碎身	ふんこつさいしん 骨を粉にし身をくだくほどに、力のかぎりつくすこと。